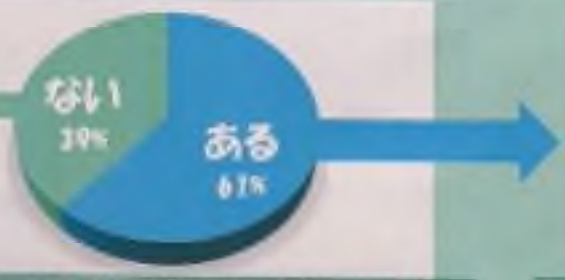
ボランティア活動
君はどんな自分になりたい？

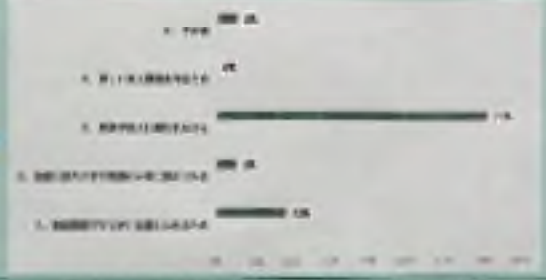
「目的」
社会や地域のために働く学生はどのような力を身に着けているのかの調査。
また、なぜ参加するのかの調査。

Q1 ボランティア活動をしたことはありますか？



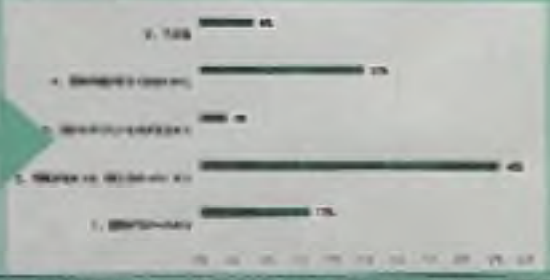
ボランティア経験のある人が6割以上を占める結果となった。それに対し、経験のない人は約4割となった。

Q2 「ある」と答えた理由を教えて下さい



参加した理由として「家族や知人に誘われたから」が71%でもっとも多くの割合を占めた。また、「社会貢献でやりがいを感じられるため」が1位と2番目に多くの割合を占めた。この結果により、多くの人が他人に誘われたことが参加の理由だと分かった。

Q3 「ない」と答えた理由を教えて下さい



参加しない理由として「情報がなかった(知らなかった)から」が約半数を占め、もっとも多くの割合を占めた。また、「団体作業が好きではないから」が約4分の1の割合を占めた。この結果から、ボランティア活動について知らなかった人も多くいたことが分かった。

Q4 リーダーシップや主体性に自信はありますか？



このグラフでは、ボランティア活動に参加したことのある人とない人のリーダーシップ・主体性について調べた。「ある」と「少しある」が参加した人の割合の方が多く、「あまりない」はどちらも半分の割合を占め、「ない」が参加していない人の割合の方が多かった。

Q5 傾聴力・対話力に自信はありますか？



このグラフでは、ボランティア活動に参加したことのある人とない人の傾聴力・対話力について調べた。「ある」が参加した人の割合の方が多く、「少しある」はどちらも半分の割合を占め、「あまりない」と「ない」が参加していない人の割合の方が多かった。

Q6 ボランティア活動をもっと広めていくためにはどのようにすればよいと思いますか？



ボランティア活動を広めていく手段として「インターネットで情報を拡散する」が34%でもっとも多くの割合を占めた。また、「ボランティア活動に時間を作る」が27%で2番目に多くの割合を占めた。

考察

ボランティア活動に参加したことのある人はやはり積極的な人が多いが、さらに積極的な人に誘われたことで参加のきっかけとしている人が多かった。また、参加したことのない人の理由として、「情報を知らなかった人が多い」ということが分かった。参加したことのない人を増やすための取り組みとして、「インターネットで情報を拡散する」という意見が一番多く挙げられた。

また、ボランティア活動に参加したいと思っていない人の数字についての質問では、リーダーシップや主体性などの自信・対話力のどちらにおいても参加したことのある人の方が自信が多く、改善することの多いことがわかった。

ボランティア活動は、「義務」ではなく、「自分で、自発的にあるために参加することができる」ものだ。誰もこれからボランティア活動に参加し、多くの人を集めていきたいと思う。

令和８年６月調査　　東広島市　６２人